

東部医療従事者のためのシミュレーションセンター整備事業について（圏域提案）

1 現時点での状況について

- ・この事業について、東部圏域内で整備方針について合意が得られており、医療従事者の確保・養成のための事業として適当と認められるとして、県では新規事業として採択する方針で検討されている。
- ・県では、鳥取県地域医療対策協議会等の審議結果を踏まえて、年度末までに国（厚生労働省）へ事業概要・要望額を報告の予定となる。

2 事業内容

(1) 事業概要

医療従事者が自由に訓練できる環境を整備し、トレーニング機会を充実させるとともに、トレーニング機器を用いたエコー手技を中心とした心臓・腹部診断研修や内視鏡治療研修などの研修を実施する。

(2) 導入するトレーニング機器（想定）・・・[書面開催の資料とほぼ同じ]

心臓・腹部超音波検査トレーニングシミュレータ	14,000,000 円
消化器内視鏡手技トレーニング用シミュレータ	24,000,000 円
汎用超音波画像診断装置	4,800,000 円
汎用超音波画像診断装置プローブ	980,000 円
CVC穿刺挿入シミュレータⅡ	260,000 円
末梢挿入中心静脈カテーテルPICCシミュレーション	162,000 円
DAMシミュレータトレーニングモデル	265,000 円
点滴静注シミュレータVライン	120,000 円
合計	44,587,000 円（税込み 49,045,700 円）

(3) 事業実施の効果

- ・シミュレーションセンターの訓練環境整備により、初期・後期研修医、看護師等、医療人材の一層の充実を図る。
- ・東部圏域の医療機関の医療従事者のトレーニング機会が増加し、より安全・安心な医療の提供が可能となる。

3 今後のスケジュール

時 期		項 目	内 容
令和 4 年	3 月	国（厚生労働省）へ 要望額を報告	令和4年度の基金の規模、事業概要を報告（3/31）
	4 月	厚労省ヒアリング	ヒアリング実施 ※出席者（想定、リモート等で実施見込） 県、県医師会長、県歯科医師会長、県薬剤師会長、県看護協会会長
	9～	国からの内示	8/10（R3）、9/29（R2）、11/18（R1）
	10 月	補正予算要求	国の内示を踏まえて補正予算を要求